

11. 事務所・商業施設(1) 【I計画:過去問20年の類似項目別による出題問題一覧表】

平成9年度 問題11	平成10年度 問題11	平成11年度 問題11	平成12年度 問題11	平成13年度 問題12
延べ面積10,000㎡のスーパーマーケットの計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。	事務所の計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。	事務所ビルの計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。	商業建築に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。	事務所ビルの計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。
1 売場面積を延べ面積の65%とした。	1 排煙方式として天井チャンパー方式を採用し、防煙垂れ壁の下端を天井面から15cmとした。	1 基準階の事務室の床面積を900㎡とする計画において、男子小便器3個、男子大便器2個、女子大便器3個とした。	1 シティホテルの計画において、客室1室当たりの床面積は、シングルベッドルームを20㎡、ツインベッドルームを30㎡とした。	1 60階建の事務所ビルのエレベーターの計画においてゾーニングを行う場合、各ゾーンのサービスフロア数は、一般に、20階程度とする。
2 売場の主通路の幅を3m、副通路の幅を1mとした。	2 事務室の床は、高さ15cmのフリーアクセスフロアとし、OA化に対応できる計画とした。	2 避難階が3階の場合、防災エレベーターを1台設置した。	2 延べ面積10,000㎡の百貨店の計画において、売場面積を延べ面積の50%とした。	2 基準階(床面積1,000~2,000㎡程度)の貸事務所における基準階のレンタルフロア率は、一般に、70~85%程度である。
3 避難計画において、避難対象人員を売場面積1㎡当たり0.5人とした。	3 基準階床面積1,500㎡の10階建の貸事務所において、基準階のレンタルフロアを室内通路も含めて82%とした。	3 貸事務所における基準階の貸室面積を、1人当たり9㎡として計画した。	3 基準階床面積2,000㎡の30階建の事務所ビルの計画において、レンタルフロアを高めることができ、構造上も有効なセンターコアタイプを採用した。	3 自社専用の事務所ビルにおいては、複数のテナントが入る同規模の貸事務所ビルに比べて、一般に、エレベーターの台数を多くする。
4 売場の天井の高さを3mとした。	4 高層事務所ビルにおいて、設備や間仕切の計画を考慮したうえで、スプリンクラーヘッドの配置を基本とするモジュールを採用した。	4 10階建の事務所ビルにおいて、エレベーターを対面配置するに当たり、エレベーターホールの幅(対面距離)を4mとした。	4 大規模な事務所ビルの計画において、片側採光の事務室の奥行寸法を14mとした。	4 オフィスレイアウトにおけるオフィスランドスケープとは、固定間仕切りを使わず、家具やローパーティションを使って適度なプライバシーを保ちつつ、変化のある執務空間を形成するものである。
5 売場の照度は500lxとした。	5 延べ面積30,000㎡以上20階建の事務所ビルにおいて、エレベーター台数を1台と1フロア当たり1台とした。	5 三方避難(直階段)を考慮し、両端コアタイプを避け、避難階の両端にエレベーターコアタイプとした。	5 客室部分の床面積120㎡のファミリー向け洋室(ソファ)の計画において、面積が狭小なソファに適合して、1㎡当たり床面積を3㎡とした。	5 事務所ビル内にコンピューター専用ルームを設ける場合は、床をフリーアクセスフロアとし、専用の空調設備を設けることが望ましい。
解答 (正解肢5)	解答 (正解肢1)	解答 (正解肢5)	解答 (正解肢5)	解答 (正解肢1)
1 ○	1 ×	1 ○	1 ○	1 ×
2 ○	2 ○	2 ○	2 ○	2 ○
3 ○	3 ○	3 ○	3 ○	3 ○
4 ○	4 ○	4 ○	4 ○	4 ○
5 ×	5 ○	5 ×	5 ×	5 ○

本内容は、「過去問20年の類似項目

別による出題問題一覧表」である。

(公財)建築技術教育普及センターと

平成13年度 問題13	平成14年度 問題11	平成15年度 問題11	平成16年度 問題11	平成17年度 問題11
建築物の計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。	商業建築に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。	1,2階を商業施設、3~20階を貸事務所(基準階の床面積2,000㎡、レンタルフロア率80%)とする地上部分の床面積の合計40,000㎡の建築物の計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。	事務所ビルの計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。	商業建築に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。
1 駐車場においては、車からの視認距離が30~50m程度であることを考慮し、駐車スペースの計画を行う必要がある。	1 量販店において、売場・積込場・通廊(を含む)の延べ面積に対する比率は、一般に、60~75%程度である。	1 商業施設(シアタースペース)を設け、エスカレーター及び開放型の階段を設置し、空間の演出を図るとともに、商業施設の客がエレベーター集中となる場合は、エレベーターを2台設置した。	1 地上1階の貸ビル(基準階の床面積2,200㎡)において、エレベーター4台(乗用・客用)の2台をエレベーターを計画した。	1 商業施設における平面形式の駐車スペースは、出入時の安全性及び周辺交通への影響を考慮して、前面道路に対する出入を左折入庫・左折出庫とした。
2 精密機械工場においては、室内空気中の浮遊粉塵の量を基準値以下とするため、バイオクリーンルームの設置が必要である。	2 大規模なシティホテルにおいて、客用のエレベーターの台数は、一般に100~200室に1台程度とされている。	2 エレベーターの総数を12台とし、低層用、高層用、非常用等を設けた。	2 センターコア形式の地上15階建の貸ビル(基準階の床面積2,500㎡)において、EPS(電気設備・盤スペース)は、コア内の共用廊下に面して分散配置とした。	2 20階建の自社専用の事務所ビルにおける乗用エレベーターの台数については、利用するピーク時の5分間集中度を在籍人数の20%として算出した。
3 ショッピングセンターにおいて、モールやコート等の客用のスペースは、一般に、延べ面積の10%程度である。	3 一般に、商店の陳列棚は、床上700~1,500mm程度の部分が、成人にとって最も商品を手に取りやすい高さである。	3 基準階の便所は、男子小便器3個、男子大便器3個、女子便器4個とした。	3 両端コア形式の地上20階建の本社ビル(基準階の床面積1,400㎡)において、一方のコアに社員用エレベーターを、他方のコアにサービス用を兼ねて非常用エレベーターを設置した。	3 大規模量販店の売場における通路の幅は、主な通路を3mとし、それ以外の通路を1.8mとした。
4 銀行の店舗において、客用ロビーと計器室との床面積の比率は、一般に、1.5である。	4 両端コア形式の貸事務所の計画においては、フロア貸の場合、オープンオフィスと共用スペースを設け、一つの階を分割して貸す場合は、両端のコアにつながる廊下を両端のコアタイプとし、レンタルフロア率が低下することもある。	4 事務室部分のゴミの排出量を1t/日と想定すると、そのうち紙類は、1/3程度ではなく、2/3程度とした。	4 地上15階建の貸ビル(基準階の床面積1,200㎡)において、非常用エレベーターの乗降ロビーが避難階の附室と兼用させて、その床面積を15㎡とした。	4 事務所ビルにおけるエレベーターの配置については、対面する視線が生じないようにしてプライバシーを確保することができる同向レイアウトを採用した。
5 大規模なシティホテルにおいて、基準階における客室部分の床面積の比率は、一般に、65~75%程度である。	5 劇場の計画において、プロセニウムステージは、必要に応じて客席と舞台との関係を変化させることができるので、演目に応じて適切な空間をつくりだせる。	5 基準階の床は、高さ3cmのフリーアクセスフロアとし、オフィスのレイアウトの変更に対応できるように配慮した。	5 事務室内の防煙区画の選定(リターン)については、照明器具を設けたスリットを利用した天井チャンパー方式とし、防煙垂れ壁の下端を天井面から15cmとした。	5 大規模量販店の基準階において、売場(売場内の通路を含む)と後方施設との床面積の割合を1:1とした。
解答 (正解肢2)	解答 (正解肢5)	解答 (正解肢4)	解答 (正解肢5)	解答 (正解肢5)
1 ○	1 ○	1 ○	1 ○	1 ○
2 ×	2 ○	2 ○	2 ○	2 ○
3 ○	3 ○	3 ○	3 ○	3 ○
4 ○	4 ○	4 ×	4 ○	4 ○
5 ○	5 ×	5 ○	5 ×	5 ×

の過去問の使用許諾条件により、「会

員講座」のみでの公開となっている

(参考公開例)。

注)類似の選択肢問題は、10色(黄色、緑色、紫色、水色、オレンジ色、薄い黄色、薄い緑色、薄い紫色、薄い水色、薄いオレンジ色)にて分類している。出題問題の図は、手書きとしている。

11. 事務所・商業施設(2) 【I計画:過去問20年の類似項目別による出題問題一覧表】

平成18年度 問題11	平成19年度 問題11	平成20年度 問題10	平成21年度 問題13	平成22年度 問題13
事務所ビルに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。	事務所ビルの計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。	商業建築の計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。	宴会場をもつ大規模なシティホテルの計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。	事務所ビルの計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。
1 事務室内の机の配置計画において、プライバシーが必要とされる頭脳労働的な業務に利用するために、並行配置から対向配置へ変更した。	1 一般の事務室において、フリーアクセスフロアのOA用コンセントの負荷容量を、床面積1㎡当たり40VAと想定した。	1 大規模な事務所ビルの計画において、片側採光の事務室の奥行寸法を最大で14mとした。	1 客室用のエレベーターの台数を、100～150室当たり1台として計画した。	1 基準階の事務室の床面積を1,000㎡とする貸事務所ビルの計画において、男子小便秘器3個、男子大便器3個、女子便器4個とした。
2 基準階の床面積が3,000㎡の貸事務所ビルにおける基準階のレクタブル比を、70%とした。	2 基準階の床面積が1,200㎡の事務所ビルにおいて、執務スペースの天井高を2.2mとした。	2 延べ面積50,000㎡の百貨店の計画において、売場(売場内の通路を含む。)と延べ面積に対する割合を7%とした。	2 宿泊と宴会の客の動線に配慮してエレベーターホールとは別に宴会場専用のエレベーターホールを設置した。	2 事務室内の排気ファンは、照明器具に設けたスリットを利用した天井チャンパー方式とし、防煙垂れ壁の下部を天井面から下方へ25cmとした。
3 事務室の計画において、天井に設置する設備の配置や間仕切りの位置を計画する際のモジュールを、3.2mとした。	3 10階建ての事務所ビルにおいて、6台のエレベーターを対面配置するに当たり、エレベーターホールの幅(対面距離)を4mとした。	3 シティホテルの計画において、各階単位の改修を考慮するとともに、階高を低くするために、客室ごとに分離したPS(設備縦シャフト)とはせずに、集中PS(設備縦シャフト)を採用した。	3 ツインベッドルームの床面積を、1室当たり30㎡とした。	3 25階建ての専任専用の事務所ビルのエレベーター計画において、エレベーターを先行先にグルーピング(バンク分け)せずに計画した。
4 基準階の平面が25m×20mの低層の事務所ビルの計画において、事務室の適切な奥行きを確保するために、偏心コアタイプを採用した。	4 収容人員10人程度の会議室の広さを、4m×6mとした。	4 高層ホテルの計画において、非常用エレベーターとサービス用エレベーターとを兼用とし、その近くにリネン室等のサービス諸室をまとめた。	4 客室部分の床面積の合計を、ホテル全体の延べ面積の70%程度とした。	4 基準階の床面積が2,000㎡の30階建ての貸事務所ビルの計画において、レクタブル比を高めることができ、構造上も有効なセンターコア型を採用した。
5 30階建ての事務所ビルのエレベーター計画において、ベンショナルゾーニング方式を採用し、各ゾーンのサービスフロア数を10階程度とした。	5 60階建ての事務所ビルのエレベーター計画において、ベンショナルゾーニング方式を採用し、各ゾーンのサービスフロア数を10階とした。	5 事務所ビル計画において、事務室の机上面照度を750lxと設定した。		
解答 (正解肢1)	解答 (正解肢5)	解答 (正解肢5)	解答 (正解肢4)	解答 (正解肢3)
1 × 事務室内の机配置計画において、プライバシーを確保するには、対応配置から並行配置へ変更する(設問は逆である)。	1 ○	1 ○	1 ○	1 ○
2 ○	2 ○	2 ○	2 ○	2 ○
3 ○	3 ○	3 × シティホテル計画では、集中PSにする設備配管の納まり上、階高を低く抑えられない(客室ごとの分離したPSの方が階高を抑えられる)。	3 ○	3 × 20階を超える事務所ビルのエレベーター計画は、10階前後でゾーニングして、行き先別にグルーピング(バンク分け)する。
4 ○	4 ○	4 ○	4 × シティホテルの客室部分の床面積は、ホテル全体の延べ面積の70%程度ではなく、50%程度である。	4 ○
5 ○	5 × 60階建ての事務所ビルエレベーターゾーニング計画において、サービスフロア数を、20階ではなく、10階とする。	5 ○		

本内容は、「過去問20年の類似項目

別による出題問題一覧表」である。

(公財)建築技術教育普及センターと

平成23年度 問題13	平成24年度 問題13	平成25年度 問題13	平成26年度 問題14	平成27年度 問題14
商業建築等に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。	商業建築の計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。	商業建築等に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。	商業建築等に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。	事務所ビルの計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。
1 劇場の計画において、演目に応じて客席と舞台の関係を変化させることができ、プロセニウムステージ形式を採用した。	1 大規模なシティホテルの計画において、客室用のエレベーターの台数を120に1台とした。	1 プロセニウム形式の劇場の計画において、1階の各席から舞台を見ることができ、5度までの傾斜に保たつ、すべての座席から舞台の正面が見えるようにした。	1 20階建ての社専用事務所ビルにおける乗用エレベーターの台数については、エレベーター利用ピーク時の5分間集中度を在館人数の25%として算出した。	1 地上28階建ての事務所ビルのエレベーターの計画において、各ゾーンのサービスフロア数を1フロアとした。
2 事務所の執務室の計画において、天井に設置する設備の配置や間仕切りの位置のモジュールを、3.6m×3.6mとした。	2 延べ面積50,000㎡の百貨店の計画において、売場面積(売場内の通路を含む。)を延べ面積の55%とした。	2 事務所ビルの便所の計画において、衛生器具の個数を、男女別の想定利用人数と待ち時間に対する利用者の評価で衛生サービスレベルにより定めた。	2 大規模商業店舗の計画において、地下階に設ける駐車場の各柱間に普通自動車と並列に3台駐車できるように、柱スパンを7m×7mと設定した。	2 省エネルギーに配慮した照明計画において、一般の事務室の机における照度の目標を750lxとし、昼光センサーと連動して照度を制御する照明器具を選定した。
3 事務所の執務室の計画において、在席率が50～60%と想定されたので、座席を在籍者で共有し、スペースを効率的に利用するために、フリーアドレスオフィスを採用した。	3 物品販売店舗の計画において、陳列棚の棚板の高さを、商品の取りやすさを考慮して、床面から70～140cmとした。	3 20階建ての事務所ビルの計画において、概算で乗用エレベーターの台数を設定する際に、エレベーター利用対象人員250人当たり1台とした。	3 基準階の平面が25m×20mの低層の事務所ビルの計画において、事務室の適切な奥行きを確保するために、偏心コアタイプを採用した。	3 基準階(床面積3,000㎡)における電気設備や盤スペースのEPSは、事務所ビルを利用する組織やテナントの変化に対応する必要があったので、二次側配線のために集中配置とした。
4 高層ホテルの計画において、非常用エレベーターは、集中PSにする設備配管の納まり上、階高を低く抑えられない(客室ごとの分離したPSの方が階高を抑えられる)。	4 30階建ての事務所ビルにおけるベンショナルゾーニング方式を採用し、乗用エレベーターの計画において、1階を出発階とし、2階から10階行き、11階から20階行きとなるようにゾーニングした。	4 シティホテルの改修で、集中PSにする設備配管のスペース確保のため階高を低く抑えることはできない(分離PSの方が階高を低くできる)。	4 宴会場を備えたシティホテル(客室数750室)の計画において、客室1室当たり100㎡として床面積の検討を行った。	4 地上30階建ての貸ビル(基準階の床面積1,200㎡)において、非常用エレベーターの乗用エレベーター特別避難階段の付室と兼用させて、その床面積を15㎡とした。
解答 (正解肢1)	解答 (正解肢4)	解答 (正解肢4)	解答 (正解肢2)	解答 (正解肢3)
1 × 劇場のプロセニウムステージ形式は、客席と舞台の関係が固定されているので、変化させ難い(設問はアダプタブルステージの解説)。	1 ○	1 ○	1 ○	1 ○
2 ○	2 ○	2 ○	2 × 地下階の駐車場で普通自動車と並列に3台駐車できるように、柱スパンが7mでは狭く、8m以上は必要である。	2 ○
3 ○	3 ○	3 ○	3 ○	3 × 事務所ビルのEPSは、二次側配線のために集中配置ではなく、分散配置が良い。
4 ○	4 × 乗用エレベーターが1階を10階行き、2階から10階行き、11階から20階行きとなるようにゾーニングで、乗り継ぎが必要。	4 × シティホテルの改修で、集中PSにする設備配管のスペース確保のため階高を低く抑えることはできない(分離PSの方が階高を低くできる)。	4 ○	4 ○

の過去問の使用許諾条件により、「会

員講座」のみでの公開となっている

(参考公開例)。

注)類似の選択肢問題は、10色(黄色、緑色、紫色、水色、オレンジ色、薄い黄色、薄い緑色、薄い紫色、薄い水色、薄いオレンジ色)にて分類している。出題問題の図は、手書きとしている。

11. 事務所・商業施設(3) 【I計画:過去問20年の類似項目別による出題問題一覧表】

平成28年度 問題14					
事務所ビルの計画に関する記述を、最も不適当なものを1つ選びなさい。					
1	事務室内のヘビークレーン(重荷重クレーン)の床の積載荷重を、 $300\text{N}/\text{m}^2$ とした。				
2	事務室内のフリーアクセスフロアの高さを、 100mm とした。				
3	事務室内の照明計画において、アンビエント照明の照度を、 500lx とした。				
4	基準階の事務室の床面積を $1,000\text{m}^2$ とする貸事務所ビルの計画において、男子小便器3個、男子大便器3個、女子更衣器4個とした。				
解答 (正解肢1)					
1	× 事務室内の床の積載荷重は、 $2,900\text{N}/\text{m}^2$ 以上としなければならない。				
2	○				
3	○				
4	○				

注)類似の選択肢問題は、10色(黄色、緑色、紫色、水色、オレンジ色、薄い黄色、薄い緑色、薄い紫色、薄い水色、薄いオレンジ色)にて分類している。出題問題の図は、手書きとしている。

本内容は、「過去問20年の類似項目別による出題問題一覧表」である。

(公財)建築技術教育普及センターと

の過去問の使用許諾条件により、「会員講座」のみでの公開となっている

(参考公開例)。